



笹中だより

学校教育目標

自立 自ら学び
共生 互いを支えあい
創造 未来を創る笹中生

横浜市立笹下中学校 TEL 045-841-1333 令和4年9月28日(水)10月号

笹中HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/sasage/>



校長 山岸 隆夫

スローガン「百獣の王」をめざした体育祭

令和4年度より、従来の2学期制から、3学期制に戻し、6月に開催していた体育祭を9月実施に変更をしました。1学期は修学旅行等の校外学習を中心にすえて、事前の学習や事後の学習に余裕をもって取り組むことができるようになりました。また1年生にとっては、入学後の中学校生活に慣れる時間ができ、夏休みには部活動等でたくましく成長する期間が得られたと思います。しかし、この夏のオミクロン株の感染拡大や 近年の夏の高温からの熱中症の予防に向けて懸念もありました。学校では、熱中症予防のためのWBGT（暑さ指数）の計測をしながら、暑さの状況に応じて、体育祭の実施の有無、実施途中での中止や短縮のプログラムを想定して準備をしました。生徒にも、熱中症対策の準備を進めるようお知らせし、PTAには、麦茶やゼリーの配付をお願いしました。観戦に関しては、密をさけるため各家庭保護者1名に限定させていただき、約330名の参加をいただきました。ありがとうございました。

さて、体育祭のほうは、生徒が本当に素晴らしい活躍をしていました。個人競技ではもちろん一人ひとりが、真剣に取り組みゴールを目指していました。笹下中独自の団体種目の大縄跳びは、1学期からクラスで練習を重ねていました。学年が上がるごとに、目にみえて上達していくところは積み重ねと努力の成果が表れます。学年種目1年生の「台風の目」2年生の「殿様リレー」3年生の「騎馬戦」とそれぞれに一致団結して、取り組めていました。

そして、何より笹下中の生徒が素敵だなと感じたのは、各係の生徒の活動でした。用具係や決勝審判の生徒は、素早く仕事をこなしながらも、競技が始まると素早くしゃがんで、周りには観客の視界を遮らないようにしていました。召集の係や得点の係、放送の係の生徒もしっかりと活動していました。陸上競技部・美術部・サッカー部・テニス部・吹奏楽部も事前の準備を含め、協力してくれました。また、各クラスの体育祭実行委員は、全体の進行を進めるとともに、各クラスをリードしてくれてくれたことと思います。ありがとうございました。みんなが「より良い体育祭をつくらう」とした気持ちが、今回の体育祭の楽しさにつながったと思います。かごレース、目の前の生徒に頑張れと手をたたいて、応援している生徒、声を掛け合い 大縄を飛んでいる生徒、とっても楽しい実況中継をしてくれた生徒、皆さんの素晴らしい姿が見られた体育祭でした。来年こそは、制限なく多くの方々に皆さんの雄姿を体育祭が実施されることを願います。

